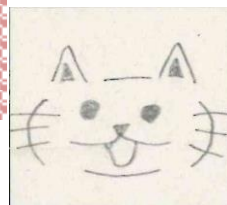


交流センターだより

おおとし



お名前: 寺田 実桜さん

No.135
令和2年
6月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 13,950 世帯数 6,786
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口) TEL 922-2461 令和2年5月1日現在

大歳地域交流センターの貸館を再開しました♪

山口県に対する緊急事態宣言の解除を受けて、交流センターの貸館利用を5月18日(月)より再開しております。貸館業務に加え、図書館の運用も再開しておりますので、ぜひお立ち寄りくださいね♪

学校開放施設(大歳小学校体育館照明など)については、5月25日(月)からの利用再開となっております。

なお、引き続き感染症対策を講じた上での利用となりますので、下記事項について御理解と御協力の程、よろしくお願いいたします。

- ☐ 利用前に、せっけんによる手洗いや手指の消毒をする。
- ☐ マスクを着用する。
- ☐ お互いの距離を2m程度空ける。
- ☐ 密閉空間にならないよう窓や扉を開け、十分に換気を行う。
- ☐ 利用した備品等については、できる範囲で適切に洗浄、消毒を行う。
- ☐ 近距離での会話、大きな声を出すことは避ける。
- ☐ 利用者の人数は極力少なくし、入退場に時間差を設けるなど、工夫する。
- ☐ 発熱や風邪等の症状がある方は参加を控える。
- ☐ 新たな感染の発生が継続的に認められた地域に出かけられた方、またはその地域に出かけられた方と接触があった方は、2週間は参加を控える。
- ☐ 利用者の代表は、感染者が発生した場合に、連絡が取れるよう利用者の連絡先を把握しておく。



感染症拡大防止に
ご協力ください



肺がん(結核)検診を延期します

新型コロナウイルス感染症の影響により「令和2年度がん検診等受信券」の送付が遅延しています。

そのため、6月1日から開始としていましたがん検診(集団・個別検診)等を延期しています。

令和2年7月9日(木)、大歳地域交流センターで開催予定としていました肺がん(結核)検診についても延期します。

今後の日程については決まり次第、市ウェブサイト等でお知らせします。

皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願いいたします。

問い合わせ: 山口市健康増進課 (083-921-2666)



体を動かして体力&免疫力アップサポート

～やまぐち元気アップ体操をやってみませんか～

新型コロナウイルス感染症の拡大などによって、外出の機会が減っている高齢者の方に向けて、「やまぐち元気アップ体操」の放送を毎日行います。

自分らしい生活を継続していくために欠かせない、筋力や持久力の維持向上のため、ご覧ください。

■放送期間：令和2年5月11日（月）～8月16日（日）



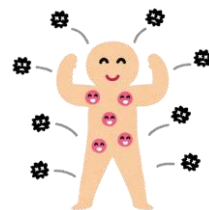
■放送時間

【5月】第4週 【6月】第1・3・5週 【7月】第1・3・5週 【8月】第1・3週	午前11時25分～11時40分
【5月】第3・5週 【6月】第2・4週 【7月】第2・4週 【8月】第2週	午後3時45分～4時

※各時間帯について、山口市の放送がない週は、防府市制作の同様の番組放送があります。

■放送局 山口ケーブルテレビ

■問い合わせ先 山口市高齢福祉課（TEL:083-934-2758、FAX:083-934-2647）



子育てサークル「太陽クラブ」からのお知らせ

～みんなで維新公園を散歩しよう♪～

太陽クラブは、大歳地域在住の未就園児の親子が月1回集い、楽しく過ごす機会を提供する活動をしています。

みんなで維新公園内をみんなでお散歩します。ボート池でのエサやりもやりますよ♪

日時：6月26日（金）

10:00～

場所：維新公園 記念塔前

持ち物：飲み物

定員：未就園児の親子（10組程度）

問い合わせ：太陽クラブ（竹中）

（TEL 090-7136-8305）

※新型コロナウイルスの感染症の影響により、中止または内容変更になる場合があります。



子育てマナビ参加者募集！

叱らない子育てから、上手に叱る子育てへ ～アンガーマネジメントで心地よい親子関係づくり～

子育てや家庭内での「イライラ」や「怒り」（＝アンガー）との上手な付き合い方を学んで穏やかな親子関係をつくってみませんか。

興味のある方、ぜひお問合せください。

日時：6月24日（水）

午前10時～午前12時

場所：名田島地域交流センター

対象：小中学生の保護者（20名程度）

講師：伊藤 英利

（アンガーマネジメントファシリテーター）

締切日：6月10日（水）

・専用メールフォーム

・電話（☎083-934-2866）



いずれかでお申し込みください

※お申し込み多数の場合は抽選になります。



忘れ物たくさん預かってます！

落とし物や、忘れ物等...大歳地域交流センターにて多数あずかっております。
6月30日(火)までに引き取りがなかった場合、処分させていただきます。
心当たりがある方は地域担当窓口(083-922-4035)までお問い合わせください。



大歳体育振興会からのお知らせ

新型コロナウイルスの影響を考慮し、6月中に開催を予定していた体育行事について、下記の通り延期または中止いたします。

■第63回分館対抗ソフトボール大会

6月7日(日) → 延期

※開催時期につきましては9月以降を予定しておりますが、施設使用可能状況や地域行事の日程、そして新型コロナウイルスの感染拡大状況をみて、開催の可否含めて判断します。

■第43回分館対抗卓球大会

6月21日(日) → 中止



はつらつクラブ 大人の居場所からのお知らせ

大人の居場所では、どなたでも気軽に参加できる活動を行っています。今月は健康ラジオ体操と脳トレにチャレンジ♪ぜひご参加くださいね♪

日時：6月20日(土)

13時30分～15時30分

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

内容：毎日の健康作りに楽しい
ラジオ体操のススメ
脳トレクイズにチャレンジ！

参加費：100円

問い合わせ：大人の居場所 代表 大窪
(TEL 080-2904-8193)

※申込み不要。どなたでも参加できます。



【大歳地区6月の行事予定】

1日(月) 燃やせないごみの日

5日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)

6日(土) 老人クラブセンター清掃(8:00～9:00)

10日(水) 母子相談(10:00～11:00)

11日(木) 金属・小型家電製品の日

17日(水) びん・缶の日

19日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)



19日(金) パソコン相談(10:00～12:00)

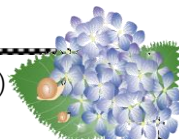
20日(土) 大人の居場所(13:30～15:30)

25日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)

26日(金) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)

26日(金) 子育てサークル太陽クラブ
(10:00～)

※木曜日はプラ容器包装分別収集



日参様と常夜燈当番 1

「太平の眠りを覚ます じょうきせん たった四はいで 夜（世）も眠られず」

嘉永6（1853）年のこの狂歌は「じょうきせん」の読み方で、京都宇治の銘茶・喜撰の上物（上喜撰）を4杯も飲んで眠れなくなったというふざけた歌にも、浦賀に来たペリーの4隻の蒸気船を前に右往左往するばかりの幕府を皮肉った歌にもなります。この年から幕末の動乱が始まり、15年後には幕藩体制が崩壊します。

大歳の朝田・和田地区に今も残る「日参様」も嘉永6年に始まったと思われます。以後の時代の大変動を考えれば、良く中断もせずに継承されてきたと感心します。

実は、2月27日に成城大学で民俗学を研究されてきた松崎憲三名誉教授と若手研究者2人がお見えになり、日参様を案内して回りました。習俗・信仰・伝承を生み出した村落共同体のあり方に注目しながら分析することの重要性など大いに学ぶところがありました。

山口大神宮のお札を奉納した賽銭箱を順番に朝田12戸、和田12戸の計24戸を回す日参様は、主として古道と石州街道沿いに回っており、幕末の集落が街道に沿いながら広がっていることを想定させてくれます。

ところで、なぜ「日参様」という「山口大神宮の講」がつくられたのでしょうか。その由来はわかりませんが、「講」は山口大神宮にとって大きな利点をもたらしていたと考えられます。山口大神宮は数少ない伊勢神宮の分社で、西日本一帯からたくさんの参詣客がありましたが、山口の村々の神社より上格の神社とされたため特定の氏子をもてず、山口の人々との関係は間接的になるという弱点を持っていました。山口大神宮より、もっと上位の伊勢神宮も同様な悩みをもっていて、その克服策として「講」が大きな力を発揮しました。伊勢神宮は伊勢参りの流行にみられるように、こうした講に最も成功したといえます。

山口大神宮にとって日参様の「講」を通じて村人と日常的な結びつきを深め、氏子に近い関係をつくることは大変メリットがあったと思われます。日参様はかつて、朝田・和田や岩富、福良、小原、田屋島などで行われたと伝えられていて、参詣を組織する講を含めれば相当な広がりがあったようです。同時に、村落共同体側にも「講」を必要とする事情があったはずで、朝田には古墳期の「王子の森」遺跡があり、和田の一部は「埋蔵文化財包蔵地」に指定され、弥生～室町の遺物を出土しています。大内氏の文化に恵まれた山口でも飛びぬけて古い歴史を持っているという誇りが共同意識として育まれていたのではないのでしょうか。また、旧朝田神社（五の宮）の氏子である朝田と旧高井八幡宮の氏子である和田とが共同して日参様の講を組織したのは、両地区を襲う深刻な洪水被害を避けたいという強い願いがあったためと思われます。明治20年から吉敷川改修工事で被害は大きく減少したため、この願

いは感謝に置き換えられ、なぜ講をつくったかの伝承が表面上姿を消したと考えられます。ともあれ、強い共同意識が「日参様」を生みだし、継続させてきた力の源であったのでしょうか。以下、次号に続きます。

（大歳史談会、文責：武波義明）



山口大神宮のお札を奉納した神棚

山口大神宮へ奉納する賽銭箱